

平成 18 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 : 株 式 会 社 エ イ ジ ア
(コード番号: 2352 東証マザーズ)
本 社 所 在 地 : 東 京 都 品 川 区 東 品 川 四 丁 目 12 番 6 号
代 表 者 : 代 表 取 締 役 江 藤 晃
問 合 せ 先 : 取 締 役 経 理 部 長 松 波 敏 郎
TEL (03) 5461-0848 (代表)

平成 19 年 3 月期中間期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 10 月 20 日付当社「平成 19 年 3 月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した平成 19 年 3 月期中間期業績予想、及び平成 18 年 8 月 11 日付当社「平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (連結・個別)」にて公表した平成 19 年 3 月期通期業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間期業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	211	△84	△51
今 回 修 正 予 想 (B)	211	△83	△90
増 減 額 (B-A)	—	1	△39
増 減 率 (%)	—	—	—
(ご参考) 前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	—	—	—

注) 連結は、当期より開始しておりますので、前期実績はありません。

(2) 個別業績予想

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	211	△81	△48
今 回 修 正 予 想 (B)	211	△80	△87
増 減 額 (B-A)	—	1	△39
増 減 率 (%)	—	—	—
(ご参考) 前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	673	111	62

(3) 修正の理由

当期の中間決算において、繰延税金資産の回収可能性について、保守的に見直しを行った結果、連結・個別共に当期純損失が 39 百万増加いたしました。

2. 平成19年3月期通期業績予想の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(1) 連結業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	900	120	65
今回修正予想(B)	601	△108	△116
増減額(B-A)	△299	△228	△181
増減率(%)	△33.2	—	—
(ご参考) 前期(平成18年3月期)実績	—	—	—

注) 連結は、当期より開始しておりますので、前期実績はありません。

(2) 個別業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	900	120	65
今回修正予想(B)	600	△102	△109
増減額(B-A)	△300	△222	△174
増減率(%)	△33.3	—	—
(ご参考) 前期(平成18年3月期)実績	673	111	62

(3) 修正の理由

当社の連結売上高は、第1四半期の約85百万円に対し、第2四半期単独は約125百万となる見込みであり、足元の業績は回復しつつあります。新製品開発への取り組みをはじめ、営業プロセスの再構築など、競争力を強化するための施策も鋭意進めております。

しかし、これらの諸施策が業績の向上につながるまでには一定の時間を要する可能性があること、エンジニアの採用をめぐる環境も依然厳しいことなどから、公表しておりました連結並びに個別の業績予想を下回る見込みとなりました。なお、本連結会計年度から開始したアウトソーシング事業は、ネットとリアルハイブリッド対応を武器に、提案活動を進めてまいります。本連結会計年度の売上見込みにはほとんど含めておりません。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上